

教育を考える



学校統廃合・小中一貫校問題… 教育的な議論が必要…総括質疑

荒川区の教育を考える… タウンミーティングにたくさんの声

タウンミーティングには47名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。

山本由美先生(和光大学名誉教授・東京自治問題研究所理事長)から、統廃合と小中一貫校をすすめる背景と現状・荒川区のこれまでの統廃合の経緯・荒川区学校建替え計画の問題点・住民の合意形成と子どもの意見反映など、たっぷりお話を聞き、保護者の方、赤土小卒業生、元教員、地域のみなさんからも貴重なご意見をいただきました。

9月12日の区議会本会議で「共通理解・合意形成を図ることが重要」との自民党議員の質問に区は「丁寧に聞き課題について具体的にすすめる」答弁。スケジュール通りに押し通すことは許されません。子どもを真ん中に、より良い教育を共に考えていきましょう!!

(当日の資料が必要な方はご連絡ください)

荒川区の学校統廃合・小中一貫校を考える

山本由美(和光大学名誉教授・東京自治問題研究所)

産党の斎藤区議が総括質疑を行いました。すでにお知らせしている、今後30年間をかけて行う、小中学校の建替計画に関わって区の姿勢を正しました。もちろん老朽化した学校の建替は当然です。しかし、今回の区の計画には、建物以外で教育的な検討が必要な内容が多く含まれています。そのため、総括質疑で以下の内容について区教育委員会の見解をただしました。

12・18学級を適正規模としているが学校建設の国庫

六瑞小汐入東小が単学級だから統合を。三峠小も検証も総括も行われてしないが、10年間の小学校不登校児の推移。学校教育で一番大切な指摘(過度に競争的な教育システムなど)についての認識は、国連子どもの権利委員会からの指摘(過度に競争的な教育システムなど)についての認識は、本当に一貫校が必要なのかな?とおもいが、かく区民的議論が必要ではな

か。これは、いずれも子どもの教育と豊かな成長を保障する上で欠かせない問題です。子どもを中心にして、課題解決に力を



旭電化通り商店会に新規出店を適用: 握手整備・賃借に補助事業を支援

旭電化通り商光会は、区の道路拡幅事業で店舗の急速な減少など、大きな打撃を受けました。この間、新規店舗開設への支援など地元から強く求める声が区にも寄せられました。今回、新規店舗開設への支援策が適切な支援策です。

補助事業	補助対象経費	補助率	補助限度額
店舗整備	内装工事費、設備又は備品購入費等の店舗整備(下記の経費を除く。)(1)建築物、構築物又は土地の取得に係る経費(2)消費税及び振込手数料等の間接的な経費		100万円
店舗賃借	店舗の整備の開始又は開店日の属する月から最長で12か月間の店舗賃借料(下記のこれら経費を除く。)(1)敷金、礼金、保証金、更新料、共益費及びに類する経費(2)消費税及び振込手数料等の間接的な経費	5/6	120万円 月額10万円を上限

今週のデータ 税・社会保障負担=再分配で低所得層が更に貧困化する日本

上回るためより給付が分配で負担なるのはマイナスです。日本の平均はマイナス4%です。ECID加盟

日本は再分配(税・社会保障)で低所得層を更に貧困化させている



日本の最大の問題は、富の再分配がされていることです。低所得世帯(共働き・子ども2人で所得が平均より3割低い世帯)の税・社会保険料の純負担率を見ると

ところが日本は8.5%と再分配で低所得層を更に貧困化させています。社会保障は削減ではなく給付も含めます。拡充こそ求められます。

シルバーパス12000円購入の方は荒川区が11000円返金します

シルバーパスは所得に応じて1000円、今年から20510円が12000円に。荒川区の方には申請していただくと銀行口座に11000円振込みます。



区役所や区民事務所、ふれあい館等に置いてある申請書に必要事項を記載して12000円の領収書。領収書がない場合はシルバーパス表裏のコピーを添えて郵送してください。オンライン申請も出来ます(領収書等はスマホで撮影)。

都内路線バスと都営交通(都バス、都営地下鉄、都電、日暮ライナー)が利用できます。



(申請用紙)

シルバーパス発行窓口	住所	電話番号	取扱時間
都営バス南千住自動車営業所	南千住2-33-1	03-3802-0391	9:00~20:00
都電荒川電車営業所	西尾久8-33-7	03-3893-7451	7:00~19:00
日暮里 舎人ライナー日暮里駅定期券発売所 (日暮里・舍人ライナー日暮里駅改札隣)	西日暮里2-19-2	03-5837-2642	9:00~20:00